

【業績優秀者返還免除申請書(様式1-1,1-2)の記入要領】

- 1 「様式1-1」については、「両面(A4版)」で、以下の要領により作成してください。
- 2 申請者の所属・現住所等、大学院における研究課題等、教育研究活動等の業績、特に優れた業績の要旨の各欄は、申請者本人が記入し(本学ホームページ掲載の用紙を使用し、直接入力することは可)、本人印を忘れずに押印してください。なお、修正液は使用しないでください。

■申請者の所属・現住所等の記入欄について

- ・「平成 年 月 日」は、申請年月日を記入してください。
- ・「課程」は、いずれか該当するものに✓を付してください。
- ・「研究科名・専攻名」は、所属の研究科名、学府名、教育部名及び専攻名を記入してください。
- ・「学籍番号」、「奨学生番号」(11桁)、「生年月日」、「氏名」、「現住所」、「電話番号」、「卒業後の連絡先(同上は不可)」は、それぞれ記入・押印してください。
- ・「^{フリガナ}氏名」は、返還誓約書と同じ名で記入してください。改姓した場合は、()書きで、改姓後の名を記入してください。
- ・認定結果は、日本学生支援機構もしくは本学から「現住所」へ6月下旬の予定で送付します。6月以降の住所をご記入ください。未定の場合は、確実に郵便が届く住所(実家等)をご記入ください

■「大学院における研究課題等」欄について

- ・大学院における研究課題等の「題目」と「概要」をそれぞれ枠内に記入してください。

■「教育研究活動等の業績」欄について

- ・特に優れた業績の該当項目の()に○を一つ以上付して、必ず業績証明資料を添付してください。

著書や雑誌の現物、論文全頁の写しなどの提出は必要ありません。評価されたことのあるもの(雑誌の掲載部分の写し、著書や論文の概要など)を添付してください。

- ・共著による研究論文や学会等での発表などを添付資料とする場合は、申請者の氏名を○印で囲むかアンダーラインを引くなどして、申請者の役割がわかるようにしてください。

なお、「大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果」とは、本学では「東京大学大学院学則第5条2項」に定める「当該修士課程の目的に応じ適当と認められるときは、規則の定めるところにより、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士の学位論文審査に代えることができる」となります。

■「特に優れた業績の要旨」欄について

- ・特に優れた業績の要旨を800字程度で枠内に記入してください。
- ・論文、著書及び受賞については、それぞれ作成又は受賞の年月を記入してください。また、発表、学会誌等は、その名称、巻、号等を記入してください。

■「返還誓約書の提出について」欄について

- ・返還誓約書の提出がない者については、日本学生支援機構で業績免除が不認定になる場合がありますので、必ず提出してください。(なお、平成22年度以降採用者については、採用時に返還誓約書を提出済みです)。リレー口座の手続きもあわせて行って下さい。

- 3 「様式1-2」の指導教員等の推薦理由欄は、指導教員等に記入・押印していただいでください。

■「指導教員等の推薦理由」欄及び認定欄について

- ・指導教員等が推薦する理由を枠内に入る字数で記入していただいでください。
- ・「平成 年 月 日」は、認定する年月日を記入していただいでください。
- ・「職名」、「指導教員名」を、それぞれ記入・押印していただいでください。

※ 「業績優秀者返還免除申請書(様式1-1,1-2)」は、各研究科等に配付するもの、もしくは本学のホームページ掲載のものを使用してください。